

なにわの元プロ野球選手①

柔道整復師 萩原 誠さん

「戦火に散ったアスリート」はしばし休んで、今回から第2の人生で全力プレーを続ける元プロ野球選手を取り上げる。1回目は、91年夏の甲子園で大阪桐蔭高校の4番打者として全国制覇の原動力となり、ドラフト会議で阪神の1位指名を受けた萩原誠さん(38)。阪神―近鉄とプロ野球界に10年間在籍したあとは、柔道整復師の国家資格を取り、ケガに苦しむ患者たちの治療に全力を注いでいる。

(フリーライター・吉岡雅史)

大東市生まれの萩原さんは現在、京阪・寝屋川市駅前の商店街で「まこと整骨院」の院長として、忙しい日々を送っている。休みは日曜だけ。たまの休日も、かつて所属した硬式野球・ボーイスリーグの「大東暇」の監督として、野球少年の指導に汗を流す。

整骨院のドアが開くと「〇〇さん、こんにちは」と、大声のあいさつが飛ぶ。「最近、腰の調子どうですか?」。患者の「個人情報」をよく

記憶しているものと、感心させられる。実は、以前スポーツ紙の記者だった筆者は、高校時代の萩原さん取材する立場で、ここ数年は深刻な腰痛持ちの患者として、向き合っているのだ。

「成功しなかったけど、阪神にいたことで、昔ファンだったという患者さんが、遠くからでも足を運んでくれる。これはやっぱり、素直に感謝しないとイケないと思うんですよ。ただ、プレーに関しては悔いの残ることばかり。できることならもう1回やり直したい、などと、萩原さんは明るく話す。

地元大阪生まれのスター候補生……

「ミスター・タイガース」掛布雅之の引退後、空き番号だったタテジ

マの背番号31に身を包んだのは、もう20年も前のことだ。

高校通算58本塁打、3年春のセンバツ8強、夏の甲子園は大阪桐蔭を初出場初優勝に導く。同い年の選手には、愛工大名電の鈴木一朗もいたが、「清原2世」の期待を集める萩原さんこそが、当時の高校生ナンバーワン・スラッガーだった。

当時の阪神は低迷続きで、若手が育たないことも輪をかけ、有望なアマチュア選手からソッポをむかれていた。しかし萩原さんは阪神入りを熱望。久しぶりに出現した地元大阪生まれのスター候補生の純粋な思いを、タイガース批判でしごきを削っていた在阪スポーツメディアが軒並み好意的に受け止めるという、いわば社会現象まで巻き起こした。

その陰で、萩原さんはすでに肩を壊していた。さらに3年夏の大阪大会では、守備の際に味方と交錯して足を故障。しかし、十分な治療を受けられないまま甲子園、高校全日本の米国遠征、秋の国体と大きな試合が続いた。

ケガに悩まされながら、夏の甲子園でホームランを3本も放ったのだから、すごいものである。1学年下で、高校ジャパンでクリーンアップを打った星稜時代の松井秀喜が「もし高校野球で個人表彰があったら、あの夏のMVPは間違いなく萩原さん」と脱帽したほど、萩原さんの打

撃は群を抜いていた。

ちなみに、翌年のセンバツで甲子園に帰ってきたゴジラ松井は、筆者の顔を見るや「萩原さんに会うことがあったら『ズルイっすよ』と伝えておいてください。掛布さんの31番は僕がひそかに狙っていたのに」と打ち明けた。筆者が球場と、阪神の選手寮「虎風荘」を伝書バトのようにならしたのには言うまでもない。萩原さんは「じゃあお前も阪神にこいや」と筆者に託し、それを松井に伝えると「じゃあ僕はバースの44番にします」と応じている。

周囲の期待に応えきれないままトレードへ

華やかなスポットライトを浴びてプロの世界に飛び込んだ萩原さんだったが、勝負の世界は、あまりにも厳しい。だまされたましのプレーが一軍で通用するはずもなかった。

「もう、どないもならん」ほど肩の状態が悪化したプロ3年目のオフ、わらにもすがら思いで、多くのスポーツ選手のコンディショニングを手がける鳥取在住のフィットネス・コーチ、小山裕史氏を訪ねた。

「すると3日で治ったんです。何年も思うように投げられなかったのが、真冬の寒い時期に。あれには感動しました」

肩の痛みから開放されて迎えた4年目のシーズン、萩原さんはプロ初ホーム

患者にマッサージを施す萩原さん

「ケガや痛みを治そうと思うのなら、患者さん本人が絶対にあきらめないことですよ」

ランを放つ。この年、4本塁打ながら、1試合2発を2度やつてのけた。ようやく実力の片りんを示したわけだが、残念ながらレギュラー獲得とまではいかなかった。

入団当初、チーム内では「ミスター」と呼ばれながら、周囲の期待に応えきれないまま、98年には近鉄へトレードとなった。その近鉄を4シーズンで退団。そのあと社会人野球の日本IBM野洲とプロ契約を結ぶわけだが、10年間のプロ生活で、自分のコンディショニングのため尽力してくれた歴代トレーナーの献身的な姿は、脳裏に焼き付いた。

「特に近鉄でお世話になった整復師の先生を見て、いいなあと思つて……。そ

のころには次にやるなら治療の仕事と決めていました。ですからIBMでは会社の仕事がなかったから、練習や試合のないときには治療の勉強をしていたんです」

IBMの野球部がその年限りで廃部となると、萩原さんは迷わずユニフォームを白衣に着替えた。

熾烈な競争の中 やり甲斐も大きい

社団法人・日本柔道整復師会には、昨年度末で1万6443人の会員、つまり柔道整復師が登録している。大阪は19332人でぶつちぎりの全国最多。

さらに整骨院に至っては、タウンページで検索すると大阪府下は3548軒も営業しており、2位・東京の1780軒のほぼ2倍と、生き残り競争は野球界に負けず劣らず熾烈だ。だから「そ

やり甲斐も大きい。答えはわかっているながら、取って柔道整復師としてのやり甲斐を尋ねると「患者さんの痛みが治ったとき」と同時に答えた。そして自身の経験から、野球少年の「野球ヒジ」が完治したときは「特に嬉しかった」と目を輝かせた。

「ケガや痛みを治そうと思うのなら、患者さん本人が絶対にあきらめないことですよ」と主張する萩原院長は、週



▼まこと整骨院
寝屋川市早子町18-1 (寝屋川一番街商店街内)
☎072-803-8855。日曜・祝日、木曜午後休診。
ホームページはhttp://www.makoto-seikotsuin.com/

に1〜2回ペースで、筆者の腰痛と格闘している。2年前には「どないもならんかった腰が、今年はかなり動くようになった」。

タテジマ いわみせいじの文化論ヨコシマ日記

